

ヘルパーの安全義務・事故・ヒヤリハット

ヘルパーの安全配慮義務違反は、責任者とヘルパーに責任問題が生じることがあります。活動中の安全には十分配慮して下さい。

安全義務違反の例

例①ヘルパーが水をこぼしうっかりしてふき忘れ、利用者がすべって転倒した。

例②ヘルパーが掃除中に、そうじ機のコードに利用者がつまずき転倒した。

介護現場に多い事故

- ・ 車椅子の操作ミスでの事故
- ・ 入浴中の転倒事故
- ・ 移乗介護での転落事故
- ・ 室内や外出先での転倒事故
- ・ 誤嚥、窒息など食事介助での事故

発生時の記録を所定の用紙に記入し提出する。

(所定の用紙は事務所にあります)

- ① 利用者の状態。
- ② 事故、ヒヤリハット発生日時。
- ③ 事故発生時の現場と原因。
- ④ 応急手当をした場合はその内容。
- ⑤ 救急車を呼んだ時間・到着時間・搬送先等。

AEDの使い方

設置場所

市役所・図書館・学校・公民館・駅・クリニック・スーパー・スイミングスクール・ガソリンスタンド・コンビニ（任意）スポーツセンター・ショッピングセンター、地域センター、地区センター等に 있습니다。

戸外で利用者が緊急事態におちいったとき、又は倒れた人がいた場合

- 1) 声をかけ反応を確認し、心肺蘇生を試みる。
- 2) 周りに人がいたら、大きな声で、「あなたはAEDをもって来て下さい！」[あなたは救急車を呼んで下さい!]と叫ぶ。
- 3) 救急車が到着するまで、心肺蘇生を繰り返す。

AEDの使い方

- 1) AEDが到着したら蓋をあける。自動的に電源が入ります。機種によっては電源を入れる。
- 2) AEDの音声ガイドに従い電子パッドを装置する。
- 3) AEDは自動的に心電図の解析を行う。解析の結果AEDが必要でない場合は心肺蘇生を繰り返し行う。

周りに誰もいない時

- 1) あわてず、落ち着いて救急車を呼ぶ。
- 2) 救急隊の指示があれば心肺蘇生をする。
- 3) 救急車が到着したら救急隊に経過と、症状を伝える。